

公認心理師課題演習

[演習] 第2学年 後期 必修 2単位

《履修上の留意事項》原則として遠隔（オンデマンド）による講義・演習を行う。

《担当者名》○富家 直明 (tomie@hoku-iryo-u.ac.jp) 野田 昌道 森 伸幸 百々 尚美 柳生 一自 今井 常晶 金澤 潤一郎 本谷 亮 齋藤 恵一 真島 理恵 西郷 達雄 関口 真有 福田 実奈 山下 佳久

【概要】

公認心理師養成課程で求められる知識および技能について、学部および大学院で履修した内容を総合的に整理して、総括するとともに、公認心理師国家試験に合格する学力を形成することを目的に、講義および演習を行う。

【学修目標】

公認心理師として具有すべき知識及び技能の中で、特に国家試験に出題されうる重要事項に焦点をあてた課題に取り組むことにより、国家試験合格に向けたより確かな知識・技能の修得をはかる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1・2	イントロダクション 公認心理師国家試験の概要	本科目の概要及び授業の進め方と公認心理師国家試験の概要やブループリントの内容を把握する。	富家 直明
3・4	公認心理師国家試験の傾向と対策	公認心理師国家試験の過去問を整理し、出題と傾向を知る。	富家 直明
5・6	健康・医療に関する心理学	健康・医療領域の出題傾向を知る。	本谷 亮 関口 真有
7・8	司法・犯罪に関する心理学	司法・犯罪領域の出題傾向を知る。	野田 昌道
9・10	精神疾患とその治療 人体の構造と機能及び疾病	精神疾患とその治療、人体の構造と機能及び疾病に関する出題傾向を知る。	柳生 一自
11・12	福祉に関する心理学	福祉領域に関する出題傾向を知る。	金澤 潤一郎
13・14	教育に関する心理学	教育領域の出題傾向を知る。	富家 直明
15・16	学習・言語	学習、言語領域の出題傾向を知る。	福田 実奈 齋藤 恵一
17・18	脳・神経の働き	脳・神経領域の出題傾向を知る。	百々 尚美
19・20	社会及び集団、家族に関する心理学	社会及び集団、家族に関する心理学領域の出題傾向を知る。	真島 理恵
21・22	発達 障害者（児）の心理学	発達領域の出題傾向を知る。 障害者（児）心理学領域の出題傾向を知る。	今井 常晶 金澤 潤一郎
23・24	知覚及び認知	知覚及び認知領域の出題傾向を知る。	森 伸幸
25・26	産業・組織に関する心理学	産業・組織領域の出題傾向を知る。	西郷 達雄
27・28	公認心理師の職責と法制度	公認心理師の職責と法制度の出題傾向を知る	富家 直明
29・30	感情及び人格	感情及び人格領域の出題傾向を知る。	百々 尚美 野田 昌道
31～34	心理状態の観察及び結果の分析	心理アセスメントに関する出題傾向を知る。	野田 昌道 今井 常晶 金澤 潤一郎
35～38	心理に関する支援	心理療法に関する出題傾向を知る。	森 伸幸 今井 常晶 山下 佳久
39・40	模擬試験	公認心理師国家試験の模擬試験を行う。	富家 直明 野田 昌道 森 伸幸 百々 尚美 柳生 一自 今井 常晶 金澤 潤一郎 本谷 亮 齋藤 恵一 真島 理恵 西郷 達雄 関口 真有 福田 実奈 山下 佳久

【授業実施形態】

遠隔授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

公認心理師国家試験の形式に準拠したテストを学期末に実施し、成績評価を行う。

【参考書】

個別教員から指定される予定である。

【学修の準備】

事前に教示される受講方法に従って講義や演習の課題に臨むこと。

復習は、講義の学習内容を確認して理解できない部分はチェックし、参考書で調べるあるいは担当教員に質問する。

国家試験受験対策であるので、積極的な取り組み姿勢を持つこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床現場において人の尊厳を重んじた科学者・実践家として社会に貢献することが期待できる能力を修得するという臨床心理学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

公認心理師： 富家直明 野田 昌道 百々 尚美 柳生 一自 金澤 潤一郎 本谷 亮 森 伸幸 今井 常晶
西郷 達雄 関口 真有 山下 佳久

【実務経験を活かした教育内容】

専門職としての実務経験を活かし、臨床現場に即した実践的教育を行う。